

# 宗岡中だより



2月号 令和5年2月1日(水)  
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

## 「4度目の春」

校長 林 孝安

暖かな春が待ち遠しい季節です。生徒は寒さにも負けず、昼休みには校庭で元気にサッカーやバスケットをしている姿が見られます。ここ数年、季節性インフルエンザの流行はありませんでしたが、今年は本校でも罹患者が出ています。全国的に見ましても季節性インフルエンザが流行しているようです。このような中、令和2年の今頃を思い出しますと、日本で新型コロナウイルス感染症に罹患した人が出始め、今日のような世界的流行になると、想像さえつかなかったことを思い出します。そして4度目の春を迎えようとしています。学校は今、新型コロナウイルス感染予防と季節性インフルエンザ感染予防のダブルでの予防実施となり、油断できない状態です。しかも今春から、新型コロナウイルス感染症は感染法上の2類から5類へと変更されますが、今のところ学校における具体的な変更の内容は、周知されていません。報告があり次第、ご連絡していきたいと考えています。

季節的には、節分で春を迎える立春となります。「立春は、二十四節気の第1です。冬が極まり春の気配が立ち始める日と言われていています。冬至と春分の間に当たり、昼夜の長短を基準に季節を区分する場合は、この日から立夏の前日までが春となります。九州など暖かい地方では梅が咲き始めます。二十四節気が成立した中国内陸部は大陸性気候のためこの頃には暖かくなり始めますが、海に囲まれた日本列島は、立春を過ぎても寒さや荒天が続きます。南岸低気圧の発生も立春を境に多くなり、平成26年豪雪によって、関東で記録的な大雪になったのも立春後でした。(Wikipediaより引用)」



さて本年度も残すところ2カ月弱となりました。新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時感染拡大防止を徹底しているような慌ただしい日がいつ収束するのか、誰にもわからないことですが、学校は教育活動を止めることなく、この状況下で今できることを検討しながら進めていきたいと思えます。また急な対応に対しましては、子供たちのために引き続き地域の皆様、保護者の皆様、ご理解ご協力をよろしく願います。